

スロベニア 海外安全対策情報

(2024年7~9月)

1 治安情勢

(1) 一般情勢

治安は比較的安定していますが、コロナ禍以降、国内での犯罪認知件数は増加傾向にあります。

特に、多くの人が集まる場所(リュブリヤナ、ブレッド、ポストイナなど人気の観光地や、イベント会場等)で、置引きやスリ被害が多く発生しています。貴重品からは目を離さないなど、十分注意してください。

また、深夜の市街地等では、路上強盗などの凶悪事件も少なからず発生しています。不必要的夜間外出は、避けるようにしてください。

(2) その他の情勢

今年1~8月の不法移民検挙数は約3万 2,000 件で、前年から減少傾向にあります。なお、検挙された不法移民の大半は、直ちに他の希望国へ向けてスロベニアを出国しているとのことです。

2 邦人被害発生状況

- * 9月21日午後2時頃、ポストイナ鍾乳洞近くのホテル前路上で、スリ犯が邦人観光客に近づき、ひそかにリュックサックを開けて貴重品を盗もうとした(未遂)。

3 特異な犯罪事件等の発生状況

スロベニア国内で発生した特異な犯罪事件、事故等は次のとおりです(報道情報による)。

(1) 殺人・傷害事件

- * 7月2日夜、リュブリヤナ市内で、46歳の男が44歳の女性を刃物で刺して殺害した。
- * 7月14日午後、ピランの路上で、42歳の男がナイフを持って通行人を追いまわした(死傷者なし)。
- * 7月26日夕、グロースプリエで、数人が喧嘩となり、65歳の男性が刃物で刺されて死亡した。
- * 9月20日、トレブニエで、48歳の男性が接近禁止命令を受けた元パートナーの勤務先に近づいてトラブルとなり、その場にいた49歳の男に刃物で刺されて死亡した。

(2) 強盗・窃盗事件

- * 7月19日未明、リュブリヤナ・モスト地区の路上で、電動キックボードに乗つた覆面の犯人が通行人に近づき、ナイフで脅してリュックサックを奪った。またその数時間後、BTC 付近の路上で、同じ者とみられる犯人が、通行人を殴って金品を奪おうとした(未遂)。
- * 7月22日未明、リュブリヤナ中心部の路上で、3人の男が通行人を取り囲んで脅して殴り、財布と携帯電話を奪った。
- * 7月30日未明、ドムジャレで、ガソリンスタンドに覆面の男が押し入り、従業員を刃物で脅して金銭を奪った。
- * 8月26日夕方、リュブリヤナ・ヴィチ地区の商店で、男が従業員を殴ってレジから現金を奪った。
- * 9月26日午前、クランで、住宅にボスニア人の男が押し入り、家人を脅して金品を奪おうとする事件が4件連続発生した。

(3) 銃器使用事件

- * 7月12日夜、マリボルの路上で、男同士が口論となり、このうちの1人が銃を取り出して発砲した。数発の銃弾はいずれも地面に当たり、けが人はなかった。
- * 8月8日夜、コチェウィエで、2台の乗用車が何者かから複数回発砲され、毀損された。
- * 8月17日夜、マリボルのナイトクラブ前の路上で、35歳の男が別の者と口論になり、威嚇目的で銃を取り出し、空に向けて発砲した。
- * 8月24日午後、スロベニ・グラデツツで、男が口論の末に女性を銃で撃って殺害し、自殺した。
- * 9月8日、ノヴォ・メストのロマ集住地区で、51歳の男が少女を銃で撃ち、負傷させた。
- * 9月22日未明、ノヴァ・ゴリツアのケータリング施設で、何者かが男性を銃で撃ち、負傷させた。

(4) 詐欺事件

- * 7月上旬以来、欧州刑事警察機構(ユーロポール)を騙り、法廷召喚状のような内容を記載した詐欺メールが国内で多数検出された。
- * 7月、マリボルの女性が、不審なネットバンク・アプリを通じて 40,000 ユーロを騙し取られた。
- * 8月中旬、NLB 銀行を騙り、「受取人の銀行が閉鎖されているため、添付の支払い注文はキャンセルされました。お金はあなたの銀行口座に戻されます」といった内容に、トロイの木馬型ウイルスが仕込まれた詐欺メールが国内で多数検出された。

- * 9月、ポストイナの61歳男性が、オンライン詐欺で不審なブロックチェーン・アプリを通じて 4,500 ユーロを騙し取られた。

(5) その他の特異事件・事故

- * 8月29日夜、リュブリヤナ・ストジツエスタジアムで開催されたクラブサッカーの NK オリンピア・リュブリヤナ(スロベニア)対 HNK リエカ(クロアチア)の試合で、リエカ側サポーターが花火や松明をピッチに投げ込み、警察部隊と乱闘になる騒ぎがあった。この混乱で試合は20分にわたって中断され、警察官7名が負傷、クロアチア人1人が逮捕された。
- * 8月の観光シーズン中、山岳事故が頻発し、多数の救助活動が行われた。コバルトでは、パラグライダーの墜落による死亡事故も発生した。
- * 9月14日、トリグラウで33歳の米国人ハイカーが行方不明となり、10月2日、リヤベツ山の雪中から遺体で発見された。高所から滑落したものとみられる。
- * 9月25日夜、リュブリヤナの路上駐車場で、覆面の男が多数の車のタイヤを切って毀損させた。

4 テロ・過激主義事件発生状況

特段のテロ・過激主義事件は認知していません。

5 日本企業の安全に係る諸問題

特段の問題は認知していません。

(了)